

QSK 福岡あけぼの会便り

No. 191
2023年
初夏



令和4年度 年度報告会

特集

事業所紹介
新年度の抱負
それでも歩こう 博多基幹
家族会便り
後援会コーナー
ともに明日へ みらい

<あけぼの会便り発行時期>

- 新春 1月初旬
- 春 3月上旬
- 初夏 5月上旬
- 夏 7月上旬
- 秋 9月上旬
- 冬 11月上旬

印刷・折り込み作業は利用者さんと職員、共同で行っております。発行時期が若干変更になる場合があります。ご了承ください。

事業所紹介

令和5年度も福岡あけぼの会を
よろしく願いいたします。

地域活動支援センターⅢ型ステップアップ

粕屋6町の委託を受け、居場所の提供や相談支援を行っています。リラクゼーションやうたの日、季節を感じる創作活動、外出活動等、好きな活動に参加できます。アットホームな雰囲気、自由に過ごせる場所です。



今年度は、コロナ禍でしづらかった活動や地域交流等を、工夫しながら再開させていきたいと思ひます。利用者の皆さんと一緒に活動を作っけいきながら、楽しめる機会を増やす1年にしたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

施設長 筧内 味佳

ほのぼのHakata

毎日、笑い声が絶えない作業所です。「明るく！楽しく！思いやり！」をモットーに、ハーブティーや珈琲の袋詰め、ラベル貼りやお菓子の箱組み立てなど、企業との協働を通じて社会参画に取り組んでいます。



今年度も「ワクワク・ドキドキ」に全力で取り組みます！

施設長 森 和浩

トライアングル

障がいを持った方が、地域で自分らしく安心して生活ができるように、日中就労の場、居場所の提供を行っております。弁当作り、内職作業を中心に行い、アットホームな雰囲気、仲間と一緒に作業に取り組んでいます。見学にいつでもおいで下さい。



4月からトライアングルに着任いたしました。昨年かへ何度も篠栗町に足を運んでおり、すてきな町だな～と思っております。あちこち歩いて名産名所を楽しみ…もちろん仕事に活かします。最初は学ぶことばかりですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

施設長 野田 江美

ステップアップ

ステップアップでは、毎日30名ほどのメンバーさんが来所され内職作業、菓子作業、自転車作業等に取り組んでいます！皆さんが元気に来所出来るよう、スタッフも元気に！明るく！日々過ごしています♪リサイクル自転車の販売や、お菓子の販売もしていますのでぜひ気軽ににお越しください！！



今年度もステップアップは、みんなで力を合わせながら、一日一日を大事に過ごしていきます。コロナも落ち着いた事だし、イベントもたくさん楽しみます。これから、ステップアップは地域とともにステップアップらしく歩みつづけます。

施設長 町永 吉宏

みぎわ工房

所内作業と食堂作業をしています。所内の椅子が新しくなりました！食堂メニューも頑張ってます！みぎわにはみぎわのハーモニーがあります。心地よく作業して頂けるように支援しています。



4月より着任いたしました。常に挑戦する気持ちを持ち続け、前向きに色々なことにチャレンジしていきたいと思ひます。

施設長 江頭 大樹

サンサンはかた

博多区吉塚3丁目にあります「サンサンはかた」です太陽の温もりが建物に「サンサン」とふりそそいで温かな、アットホームな施設を目指していきます



令和5年度も施設長をさせて頂く「てらい」です

て…丁寧な言葉使いで ら…来所利用者対応・電話対応 い…一所懸命がんばり過ぎず、がんばります♪

施設長 寺井 雄三

心の春希望

地域で生活する人々の「心の健康」に寄り添いながら日常生活上の相談や支援のほか、社会資源の情報提供、地域との交流活動を行うところです。自立と社会参加の促進を図ることを目的とし、皆の集う場所になっています。

新年度から施設長を務めさせていただく畝地です。藤島さん、三浦さんの想いの言葉を受け継ぎ『居場所と交流の場を提供しながら【何か一つあたたかさを感じられる場】【共に成る機会】』を皆さんと一緒に創っていきたら嬉しく思ひます。

施設長 畝地 祥治



多機能型みらい

みらいは現在就労継続支援B型・就労移行支援・就労定着支援を行っています。

作業としては、弁当・喫茶の厨房・喫茶ホール・お弁当販売・お菓子・クリーニング・軽作業と多くの種類があり、得意な事や好きなことを活かしながら仕事をする事が出来ます。特に弁当・喫茶の厨房には管理栄養士や調理師の資格を持ったスタッフも在籍しており、専門的な知識や技術を学ぶことが出来ます。自分の好きな事とことん向き合い仕事出来る、そしてたくさんの「うれしい・楽しい」に出会えるみらいに是非一度見学やお食事にお越しください。

多機能型みらいでは、昨年に続きSAKURAフェアを開催いたしました。桜満開の中、地域の皆様にご参加いただき大成功でした。感謝申し上げます。みらいは地域に開かれた居場所としての活動を引き続き行っていきます。今年度はさらにパワーアップします！

施設長 榎本 美千代



カレッタ は一とふる

は一とふる

篠栗の自然豊かな地にあるグループホーム。今では少なくなったご近所さんとのやりとりも、は一とふるではまだ残っています。昨日は地域の方から掘り立てのたけのこをお裾分けしてもらい、早速夕食のおかず美味しく頂きました。旬のものをみんなで食べられる喜びは格別です。

カレッタ

7人のメンバーと新しい職員2人を迎えて新年度のスタートです。日勤職員は管理者を入れて5人、夜勤職員は6人。うち2人は他事業所との兼務です。職員の顔ぶれの豊かさは支援の充実につながると感じます。グループホームってどんな所だろうと思われる方はいつでもお問い合わせください。



4月から初めて就労系の配置を外れて、2カ所のグループホームの管理者となりました。新しいフィールドで仕事ができることに感謝。緊張しますが皆さんと楽しみながら活動していきたいです。まだ、数日しか経っていませんが、あっちこっちに寄り道したくてまっすぐ帰宅できそうにありません。

カレッタ は一とふる 施設長 判田 章江

しのめ

荒江にある内職や清掃などの作業を中心とする「しのめ」と別府にあるお惣菜やお弁当の販売を中心とする「しのめプラス」があります。内職はとても丁寧であると評判で、お弁当は開店前から行列ができるほど大人気です。

4月より施設長拝命致しました。まだまだ不慣れで、メンバーさん達やスタッフに教えてもらいながらのスタートになっております。やる気だけはありますので、「しのめに来てよかった」といってもらえるように頑張りますので皆さんよろしく願いいたします。

施設長 有吉 貴之



東区第3障がい者基幹相談支援センター

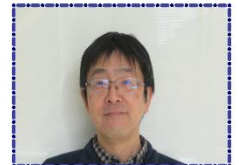
東区第3障がい者基幹相談支援センターは、障がいのある方やその家族等の支援を行っています。皆さまから気軽に相談できるようスタッフ一同心掛けています。

コロナ対策が新たなステージに入り、いろいろな事が前に進み始めている気がします。

東区第3障がい者基幹相談支援センターも、新年度新たな体制で業務に取り組んでいきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

施設長 宮本 政智



博多区第1障がい者基幹相談支援センター

博多区第1障がい者基幹相談支援センターは、身体・知的・精神3障害の第1次相談窓口です。「精神保健福祉」「はかた暮らし」（在宅支援）、「博多っ子★未来」（児童支援）等のネットワーク会議を開催し、区内のネットワーク構築に取り組んでいます。地域生活支援協議会の博多区部会事務局も担っており、実際の支援やネットワーク活動等の中から上がってきた地域課題について検討しています。昨年度から1名増員の、コーディネーター6名、事務員1名でがんばっています。

令和5年度はフレッシュな人材が加わってのスタートとなります。センターは今年で7年目を迎え、日々の支援が積み重なり、地域や支援機関とのネットワークが重層的に広がっています。継続性を大事にしながら、新たなことに取り組んでいきます。

施設長 三浦 邦子



令和4年度 年度報告会

プログラム

- □ 午前の部 □ ■
- 10:00 開会式
 - ・開会の挨拶
 - ・理事長挨拶
 - ・オリエンテーション
 - 10:15 報告発表
 - 12:30 各施設より年度報告
 - 12:30 ご来賓の皆様よりお言葉
 - 12:50 昼休憩 ・60分

午前の部

理事長 挨拶



皆様こんにちは。
 年度報告会は事業所の報告や課題を共有するために開催しています。
 職員には報告会での他の事業のケースや課題を聞くことで自分自身の支援に繋げてほしいと思っております。
 来賓の皆様には年度報告会をご覧になっていただきアドバイスをいただきたいと思っております。
 よろしくお願いたします。

各施設発表



各施設より、今年度の取り組み発表をおこないました。
 12施設をそれぞれの報告をすることができました。
 また質疑応答の時間を設けることで、疑問点や感想をいただくことができました。
 ありがとうございました。

各施設発表



今年福岡あけぼの会が20年。法人、施設、支援の中で（利用者、ご家族、地域の方々）に理解していただくためには、このような取り組みを重ねていくことが大事です。
 また、支援力を上げるため、みんなで協力し連携していくこと。法人が愛情に溢れていることが大事。
 これからみなさんと、努力を積み重ね素晴らしい福岡あけぼの会にしてください。



有吉 時寛様

各施設発表

各施設それぞれにお言葉をいただきました。
 今回の報告会で重要なことはツールは支援力しかないということ。
 そのために、支援力を上げスキルアップを積み重ねていくこと。



対象者に対して、本音を聞きだすことは非常に難しいためその方とのかかわり方がとても大切。
 これからも支援力を磨くことで、素晴らしい福岡あけぼの会になると思います。

倉知 延章様

プログラム

■□□ 午後の部(職員のみ) □■□

- 13：50 ・新入職員紹介 ・永年勤続表彰
 14：20 ・レクリエーション ①勝ち残りじゃんけん
 ②あけぼのクイズ
 ③紙ヒコーキ大会
 15：45 ・次年度への言葉 ～理事長より～
 16：00 閉会

午後の部

新入職員紹介



各施設R4年4月以降の職員より、所属部署、名前、コメントをいただきました。職員はとても緊張してましたが、ユーモア溢れるコメントや、事業所紹介、今後の意気込みを聞くことができました。

永年勤続表彰



各施設、永年勤続対象職員へ理事長より表彰式がおこなわれました。

表彰式が終わり、代表職員より以下コメント。

「今後も、利用者さん、ご家族含めた更なる1チームになれたらいいと思います」

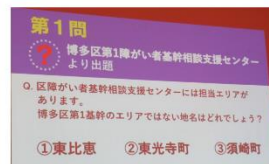
レクリエーション

勝ち残りじゃんけん



レクリエーション

あけぼのクイズ



レクリエーション

紙ヒコーキ大会



閉会式

発表して下さった方、各事業所で協力して下さった方ありがとうございました。

想像以上に良い発表を聞くことができました。

福岡あけぼの会は多岐にわたる支援や色々なことに取り組んでいることを改めて認識できました。来年度もみんなで力をあわせて頑張っていきましょう。



令和5年度 辞令式

令和5年4月1日、辞令交付式が執り行われました。

判田理事長により、任命・新規採用職員、一人一人に辞令が交付されました。
異動した施設長・職員は次のとおりです。

◆異動・任命◆（敬称略・順不同）

■施設長

はくとふる 本部（兼務） 判田章江／東区第3基幹（兼務） 宮本政智／みぎわ工房 江頭大樹／トライアングル 野田江美／心の春希望 畝地 祥治／しのめ 有吉貴之

■主任

東区第3基幹 松本岳矢／トライアングル（兼務） 高野祐次／みぎわ工房 新屋敬／東区第3基幹 谷口皓一／しのめ 隈元勇祐／博多区第1基幹 小田佳央里／東区第3基幹 岡本裕作／ほのぼのHaKaTa 黒江亜友木

■職員

しのめ 山村朱美（ほのぼのHaKaTa）／ほのぼのHaKaTa 近藤徹（みぎわ工房）



家族会コーナー

☆福岡あけぼの会では、下記の4つの家族会が元気に活動しております。ぜひ一度見学にお越しください。☆

しのめ福祉会

定例会：毎月第3日曜日10：00～
場所：B型事業所“しのめ”
福岡市城南区荒江1-23-25
問い合わせ：前田080-5219-6479

すずめのお宿家族会

定例会：毎月第1土曜日10：30～
場所：地域活動支援センター“心の春希望”
福岡市南区大楠1-35-17
問い合わせ：白石080-3952-8205

ヒューマン21

定例会：奇数月第4土曜日13：00～
場所：B型事業所“トライアングル”
福岡県糟屋郡篠栗町篠栗中央4-15-3
問い合わせ：092-947-3173

五筑会

定例会：毎月第3土曜日13：30～
場所：B型事業所“みぎわ工房”
大野城市白木原4-1-5
問い合わせ：092-592-3942

（日時、場所に関しては変更になることがありますのでお問い合わせください。）

お知らせ

★すずめのお宿家族会では、R5年度『家族による家族学習会』を9月より開催いたします。追って、開催案内をお知らせします。ご家族の方の参加をお待ちいたしております。

★上記4家族会では、今年度もミニ講演会を開催予定です。詳細につきましては、決まり次第お伝えいたします。皆様の参加をお待ちいたしております。

★福精連では、2023年9月9日（土）北九州にて『第6回福精連大会』を開催いたします。詳細は後日発表いたします。たくさんの方の参加をお願いいたします。



それでも歩こう

理解共有のプロセスとしてのアセスメント

ずいぶん以前のこと、病院のデイケアで退院支援について話をする機会がありました。そのときに参加者の方から「アセスメントってどういう意味ですか？」という質問がありました。専門学校を出てまだ数年という頃でもあり、頭のなかであれこれ定義を思い出そうとしましたが、少々苦し紛れに『「理解する」ということです』と答えてその場をしのぎました。

アセスメントという言葉を知ったときにそのことを思い出しますが、何年も現場にいるなかで、それは決して的はずれではなかったとホッとしています。ただ、その「理解する」ことの意味や方法については、支援者の一方的なものでなく、もっと相互的なものであることが大事だと感じています。

「そちらが聞きたいことであって、私が話したいことではない」。

最近ある方から支援チームによる振り返りについてこのように言われました。支援者側のニーズに基づいた支援者主導の面接になっている、そのように感じた不全感の現われでしょう。

相談者の全人的な理解のためには、その生活状況、来歴、家族との関係、ストレングス、疾病障害、「問題」がどのような関

係性のなかで生じているのか、地域との関係、社会的背景など、さまざまな属性から見ていく必要があります。それはシートにある項目を一方的に質問するようなものではなく、相談者と支援者との協働的關係のなかで深められ、内容が相互に共有されることが理想でしょう。「私が言いたいのはそういうことではない」と支援者に対して意見が言えるような信頼にもとづいた開かれた関係性。共通理解にもとづいて希望の見えるさまざまな選択肢が提案され、相談者が主体的に選択して取り組むというプロセス。「本人のストレングスや将来の希望についての理解」は本人にも難しいことが多いのですが、時間がかかっても本当に成果のある実践には以上のような条件は必要ではないかと思えます。

「アセス、とれた？」と問われて、書類ができていないことにオタオタする事務処理能力の乏しさという課題に直面しながらも、理解共有のプロセスとしてのアセスメントの大事さをますます感じています。

博多区第1障がい者基幹相談支援センター K・S

福岡あけぼの会後援会コーナー

〒815-0082
福岡市南区大楠1丁目35-17
電話092(791)5858
Mail:kouenkai@f-akebonokai.jp

より幅広い層へ 指定障がい児相談事業と連動

発達障がいのある児童とその家族への支援。このほど開かれた社会福祉法人福岡あけぼの会(判田章江理事長)の令和4年度事業報告会で傘下の博多区第1基幹相談支援センター(三浦邦子センター長)は、増加傾向にあり社会の関心が高まっている発達障がい児への支援に取り組んできた事例を発表。主に成人者への支援が中心の福岡あけぼの会各事業所の中で、同じ傘下事業所のひとつの事業所が放課後等デイサービス、スクールソーシャルワーカー、相談支援事業所等幅広く各専門機関と連携し、調整への取り組みはこれからの時代に対応する福祉施設の在り方として注目される。

6歳から5歳まで対応

専門相談員による地域支援に取り組み基幹相談支援センターは、各種事業機関等との連携が「命(いのち)」「の活動」をしており、相談事例も子供から大人の問題まで幅広く、適切に対応出来るように令和2年、福岡市の「指定障がい児相談事業」の認可を受けた。この結果、活動対象は、6歳の小学生から65歳までとより広い層へ広がり、家族との対応等を通じ法人各事業所との相談、連携も大幅にアップ。利用者、家族にとつてさらに期待される「福岡あけぼの会」となった。

バスハイク
今年6月開催
事業所の利用者や家族、ボランティアが大型バス1台を借り、ふれあい旅を楽しむ今年の「福岡あけぼの会1日バスハイク」(後援会主催)は、6月19日(月)実施と決まりました。コースは福岡あけぼの会本部を午前10時出発。途中バイキング昼食、下関水族館・海響館見学。帰途は関門橋下り線入り口の壇の浦パーキングで休憩。午後5時帰着。壇の浦パーキングは関門海峡と関門橋が間近に眺められる絶景ポイント(写真)



(2020年1月創刊号)

広報「チムムHAKATA便」発行

一方地域各種機関、福祉関連事業所との連携支援に必須の「お互いを知り」を目的に広報「チムムHAKATA便」を随時発行。情報交換や関連事業者との会議等による支援の迅速化と適切な支援を目指している。

5年度後援会総会 6月23日開催

コロナの関係で中止していた福岡あけぼの会後援会総会は、6月23日(金)午後1時から、法人本部2階ギヤラリーで開催。4年度決算、5年度事業方針等。参加自由。意見、要望をお待ちしております。

◇ご支援ありがとうございます◇

3月7日ー4月7日の間後援会へご入会(継続・寄附含む)された方のご紹介
野田江美、近藤徹、早淵さやか、横田桂子、戸田俊彦、うさぎの会・和田幸之、小嶋保、桜珠会・可也病院、小林恵、武田滋、弁護士事務所・野林信行、平川ミドリ、佐々木幹郎、三枝彰子、山下晴男(以上敬称略)

◇令和5年度会員募集◇

社会福祉法人福岡あけぼの会活動をサポートする令和5年度(4月〜翌3月)後援会員を募集中です。
(会費) 個人二千円▽団体五千円以上▽障がいをお持ちの方五百円
(入会方法) 後援会事務局、法人各事業所(施設)での直接受け付けと郵便局での振込みがあります。郵便局でのお振込みは▽口座番号0179010129940

事業所紹介



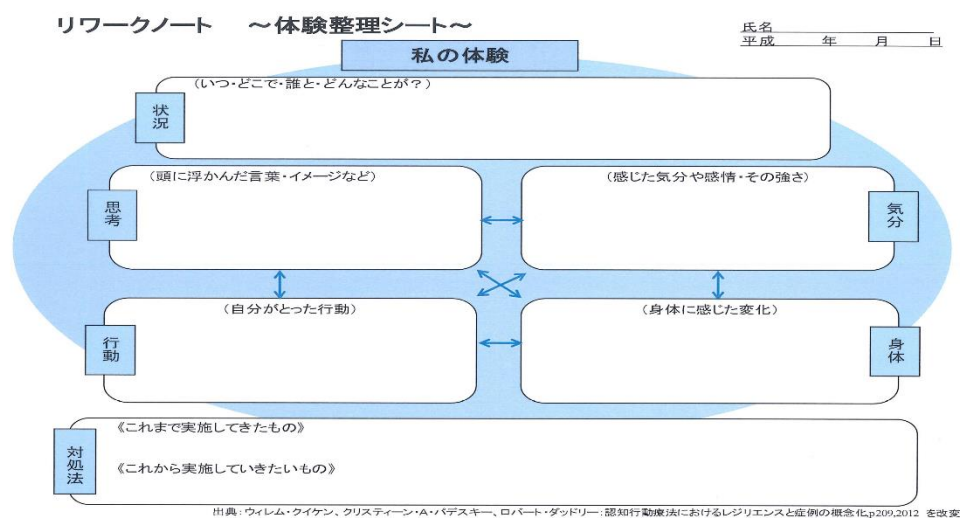
施設名	郵便番号	住所	電話番号	Mail
本部事務局	815-0082	福岡市南区大楠1丁目35-17	092-791-7472	honbu@f-akebonokai.jp
多機能型事業所	多機能型みらい	815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17	092-524-4121	mirai@f-akebonokai.jp
	多機能型ステップアップ	811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-18	092-938-9388	stepup@f-akebonokai.jp
就労継続支援事業B型	しののめ	814-0101 福岡市城南区荒江1丁目23-25	092-851-7528	shinonome@f-akebonokai.jp
	しののめプラス	814-0104 福岡市城南区別府5丁目8-19	092-834-4336	shinonome@f-akebonokai.jp
	ほのほのHaKaTa	812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目12-53	092-409-8318	honobono@f-akebonokai.jp
	みぎわ工房	816-0943 大野城市白木原4丁目1-5	092-592-3942	migiwa@f-akebonokai.jp
	トライアングル	811-2417 糟屋郡篠栗町中央4丁目15-3	092-947-3173	triangle@f-akebonokai.jp
地域活動支援センター	心の春希望(I型)	815-0082 福岡市南区大楠1丁目35-17(2F)	092-524-4153	kibou@f-akebonokai.jp
	サンサンはかた(I型)	812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18-36	092-409-2471	sansan@f-akebonokai.jp
	ステップアップ(III型)	811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1丁目1-17	092-938-6702	stepup3@f-akebonokai.jp
区障がい者 基幹相談支援センター	博多区第1障がい者基幹 相談支援センター	812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18-1	092-409-2478	hakata1kikan@f-akebonokai.jp
	東区第3障がい者基幹 相談支援センター	812-0061 福岡市東区馬出1-2-23第1岡部ビル102号	092-292-5604	higashi3kikan@f-akebonokai.jp
グループホーム	カレッタ	814-0033 福岡市早良区有田5丁目24-27	092-873-2578	caretta@f-akebonokai.jp
	はーとふる	811-2405 糟屋郡篠栗町大字篠栗3697-1	092-947-6805	heartfull@f-akebonokai.jp



第44回 多機能型みらい



こんにちは、多機能型みらいです。
今回は、みらいで昨年度から始まった利用者向けの勉強会について第1回目の様子と内容をお伝えします。
第1回目のテーマはスタッフの篠崎が研修で学んできた「リワークノート体験会～ストレスを分析し整理しよう～」でした。リワークノートとはどんなものなのか・・・



このシートの項目に当てはまったその時の行動や感情を書き出し、イライラやストレスを感じた場面を客観的に捉え、考え方や行動を見直していくために活用するものです。

- リワークノートの効果
 - ・辛いストレスを感じた場面の全体像が分かる
 - ・ストレスを感じた場面を客観的に振り返る事で気分が落ち着く事が多い
 - ・繰り返し書く事で、ストレスを感じた体験を振り返る力が向上し、ストレスを感じた体験に巻き込まれにくくなる
- 勉強会に参加した利用者の感想
 - ・内容も分かりやすくてなるほどと思ったり出来た
 - ・人によっては文章を書くことで理解できる人もいるはずだからいい研修だった
 - ・理解するのが難しかった
 - ・リワークノートを知る機会になってよかった
 - ・いい研修だった。初めてリワークノートというものを知った
 - ・ストレスを感じた体験を思い出したため、少し疲れた
- スタッフ篠崎の感想

新しい取り組みの第一歩目になったのではないかと感じました。今回利用者だけではなく職員の方にも参加していただきました。その為職員全員がリワークノートの活用方法を知っている為今後の面談にも活用できるはずですが、ただ、参加者の中には内容が難しかった等の意見もあった為、資料や進行に配慮が足りなかったと思いました。私自身初の試みだった為、大変勉強になりました。
今後も職員同士協力し合っって勉強会を継続していき利用者に寄り添った支援を行います。